

<為替ヘッジあり>

第8期末 (2024年10月25日)	
基準価額	26,340円
純資産総額	362億円
騰落率	36.6%
分配金	0円

<為替ヘッジなし>

第8期末 (2024年10月25日)	
基準価額	43,105円
純資産総額	1,104億円
騰落率	46.4%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00~17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

# ニッセイ A I 関連株式ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【愛称】A I 革命 (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)  
追加型投信 / 内外 / 株式

## 運用報告書(全体版)

作成対象期間:2023年10月26日~2024年10月25日

第8期(決算日 2024年10月25日)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイA I 関連株式ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」は、このたび第8期の決算を行いました。

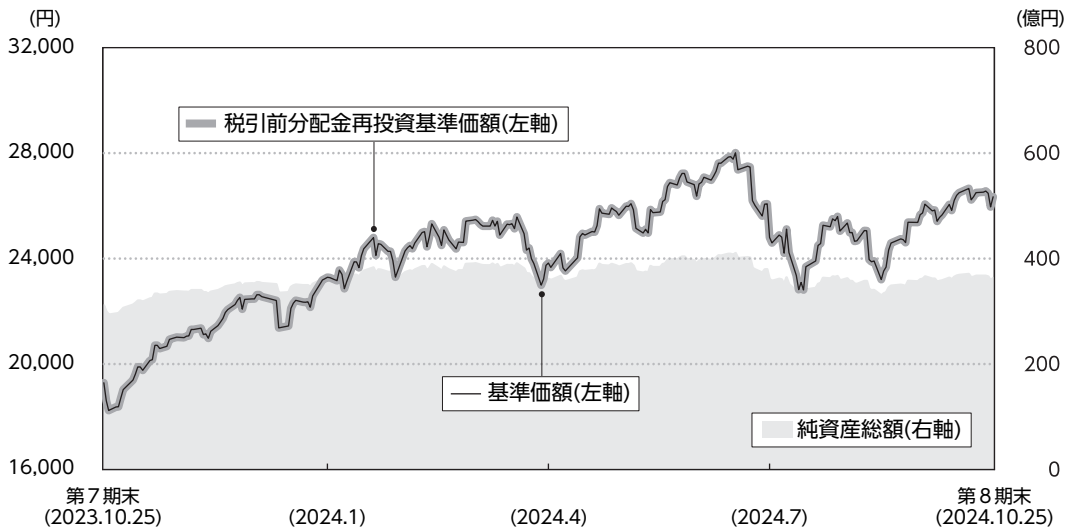
各ファンドは、「TCWファンズII - TCW グローバルA I 株式ファンド (円ヘッジクラス) / (ノンヘッジクラス)」への投資を通じて、日本を含む各国の株式の中から、主にA I (人工知能) 関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

# 運用経過

2023年10月26日～2024年10月25日

## 基準価額等の推移



第8期首	19,285円	既払分配金	0円
第8期末	26,340円	騰落率(分配金再投資ベース)	36.6%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

## 基準価額の主な変動要因

### <上昇要因>

- ・ 期初から3月下旬にかけて、インフレの落ち着きなどから欧米中央銀行による政策金利の引き下げ観測の高まりを背景とした米長期金利の低下などから株価が上昇したこと
- ・ 4月下旬から7月上旬にかけて、インフレの落ち着きを受けて米連邦準備制度理事会(FRB)による年内の利下げ観測が再燃したことや、生成人工知能(AI)の成長を支える半導体企業の決算発表が好感されたことなどを背景に株価が上昇したこと
- ・ 8月中旬から当期末にかけて、米半導体企業が示した半導体需要に対する強気な見通しや、欧州中央銀行(ECB)の追加利下げやFRBの利下げ、中国政府の景気刺激策や不動産市場支援策の発表などから株価が上昇したこと

### <下落要因>

- ・ 4月中旬から下旬にかけて、米利下げ観測が後退したことなどにより株価が下落したこと
- ・ 7月中旬から8月上旬にかけて、米景気後退懸念が高まったことなどにより株価が下落したこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第8期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	313円	1.292%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ <p>期中の平均基準価額は24,242円です。</p>
(投信会社)	( 93)	(0.385)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(213)	(0.880)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 7)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.002	その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 0)	(0.002)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	( 0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用</li> <li>・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息</li> </ul>
合計	314	1.294	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

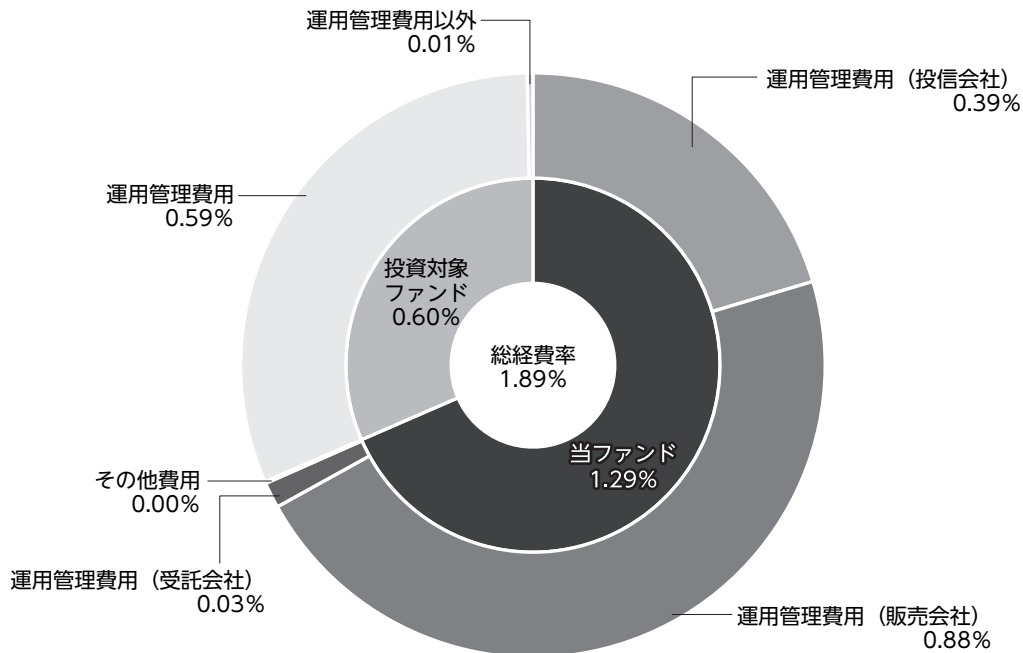
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.89%**です。



総経費率 (①+②+③)	1.89%
①当ファンドの費用の比率	1.29%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.59%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

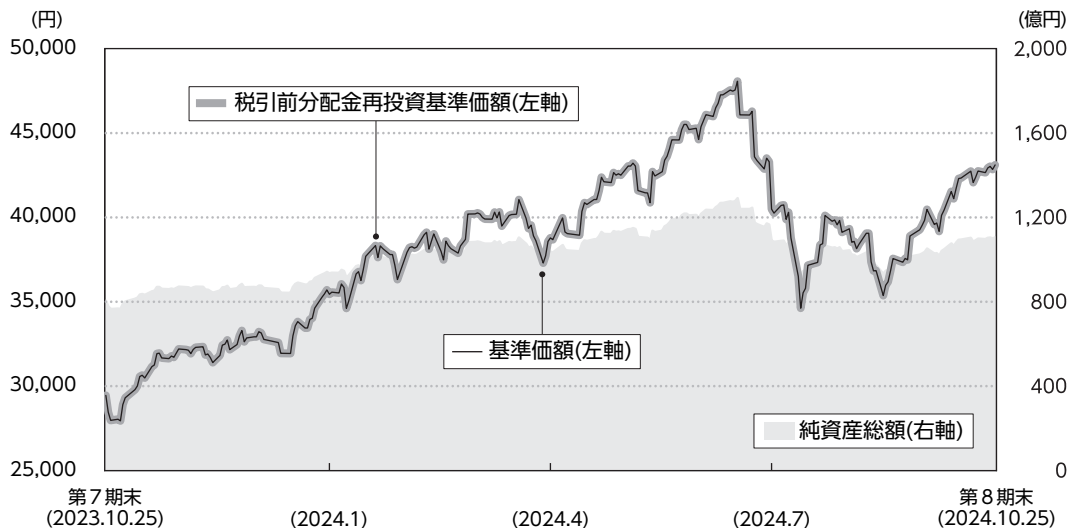
(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 基準価額等の推移



第8期首	29,449円	既払分配金	0円
第8期末	43,105円	騰落率 (分配金再投資ベース)	46.4%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

## ■ 基準価額の主な変動要因

## &lt;上昇要因&gt;

- ・ 期初から3月下旬にかけて、インフレの落ち着きなどから欧米中央銀行による政策金利の引き下げ観測の高まりを背景とした米長期金利の低下などから株価が上昇したこと
- ・ 4月下旬から7月上旬にかけて、インフレの落ち着きを受けてFRBによる年内の利下げ観測が再燃したことや、生成AIの成長を支える半導体企業の決算発表が好感されたことなどを背景に株価が上昇したこと
- ・ 8月中旬から当期末にかけて、米半導体企業が示した半導体需要に対する強気な見通しや、ECBの追加利下げやFRBの利下げ、中国政府の景気刺激策や不動産市場支援策の発表などから株価が上昇したこと

## &lt;下落要因&gt;

- ・ 4月中旬から下旬にかけて、米利下げ観測が後退したことなどにより株価が下落したこと
- ・ 7月中旬から8月中旬にかけて、米消費者物価指数（CPI）でインフレ鈍化の落ち着きが確認されたことなどによりFRBによる利下げ観測が高まったことなどから米ドル安円高となったこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第8期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	496円	1.292%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ <p>期中の平均基準価額は38,357円です。</p>
(投信会社)	(148)	(0.385)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(338)	(0.880)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 11)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.001	その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 1)	(0.001)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	( 0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用</li> <li>借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息</li> </ul>
合計	496	1.294	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

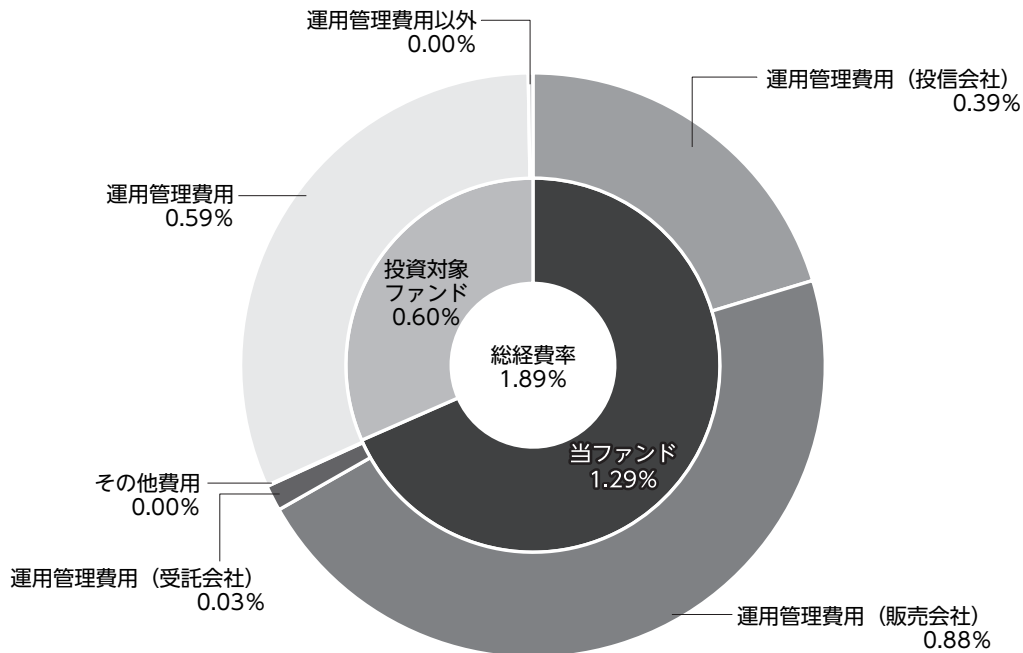
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.89%**です。



総経費率 (①+②+③)	1.89%
①当ファンドの費用の比率	1.29%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.59%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

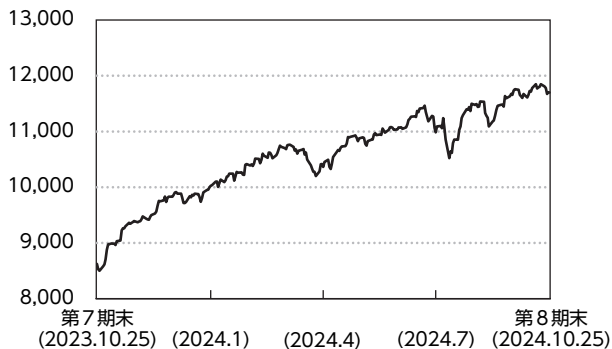
(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 投資環境

### ■ 海外株式市況

#### 【MSCIワールド・インデックス (配当込み、米ドルベース)の推移】



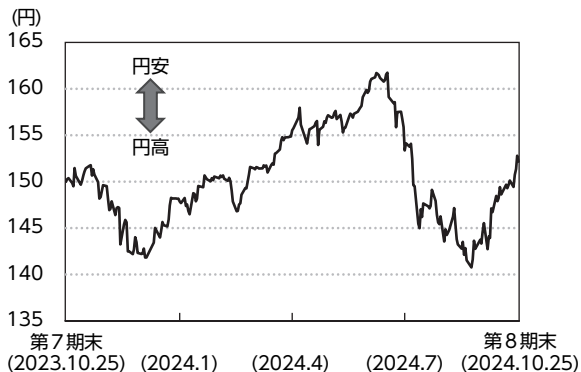
(注) FactSetのデータを使用しています。

当期の海外株式市場は期を通じてみると上昇しました。

期初から3月下旬にかけて、インフレの落ち着きなどから欧米中央銀行による政策金利の引き下げ観測の高まりを背景とした米長期金利の低下などにより株価は上昇基調で推移しました。4月上旬から中旬にかけては米利下げ観測が、後退したことなどにより株価は下落しましたがその後はインフレの落ち着きを受けてFRBによる年内の利下げ観測が再燃したことや、生成AIの成長を支える半導体企業の決算発表が好感され株価は上昇しました。8月上旬に発表された米サプライマネジメント協会(ISM)製造業景況感指数や米雇用統計の悪化により、米景気後退懸念が高まり株価は下落しました。当期末にかけては、米半導体企業が示した半導体需要に対する強気な見通しや、ECBの追加利下げやFRBの利下げ、中国政府の景気刺激策や不動産市場支援策の発表などから株価は上昇しました。

### ■ 為替市況

#### 【米ドル/円レートの推移】



(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

当期の米ドル/円レートは、期を通じて見ると米ドル高円安となりました。

期初から年末にかけては、FRBの早期利下げ観測の高まりや日銀の金融緩和政策の修正観測が高まったことなどを背景に米ドル安円高基調となりました。3月前半にはFRBの利下げ観測が高まったことなどを背景に米ドル安円高となりましたが、その後は日銀が金融引き締めにも慎重な姿勢が示されたことなどにより米ドル高円安基調で推移しました。7月から9月中旬にかけては、米CPIでインフレ鈍化が確認されたことや、利下げ観測が高まったことなどから米ドル安円高基調となりました。9月下旬から当期末にかけては、FOMCで利下げが決定されたものの、将来の利下げ幅が限定的となる見込みが高まったことなどから米ドル高円安に転じました。



## ポートフォリオ

### ■為替ヘッジあり

TCWファンズⅡ-TCWグローバルA I株式ファンド(円ヘッジクラス)への投資を通じて、日本を含む各国の株式の中から、主にA I関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

### ■為替ヘッジなし

TCWファンズⅡ-TCWグローバルA I株式ファンド(ノンヘッジクラス)への投資を通じて、日本を含む各国の株式の中から、主にA I関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

### ■TCWファンズⅡ-TCWグローバルA I株式ファンド(円ヘッジクラス) / (ノンヘッジクラス)

\* TCWアセット・マネジメント・カンパニーの資料(現地における当期末の前営業日基準)に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

徹底した調査・分析に基づき、日本を含む各国の株式の中から、主にA I関連企業の株式に投資を行いました。当ファンドにおけるA I関連企業とは、A Iに関する製品・サービスを開発・提供する企業やA Iを活用して事業を展開する企業をさします。なお《円ヘッジクラス》については、組入外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

当期末における業種別配分は、組入比率の高い順に情報技術(68.1%)、コミュニケーション・サービス(14.9%)、一般消費財・サービス(9.4%)としており、国・地域別配分は、アメリカを87.9%としています。また、カテゴリー別では、A Iの基礎技術等を提供する企業を67.0%、A Iを開発・提供する企業を24.4%、A Iを活用した製品・サービス等を提供する企業を8.6%としています。

(注1) 比率はすべて対組入株式等評価額比です。

(注2) 業種はGICS分類(セクター)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(注3) 国・地域はTCWアセット・マネジメント・カンパニーの分類によるものです。

### ■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

## ベンチマークとの差異

### ■為替ヘッジあり

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式の中から、主にA I関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

### ■為替ヘッジなし

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式の中から、主にA I関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

## 分配金

### ■為替ヘッジあり

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。  
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2023年10月26日～2024年10月25日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	16,339円

### ■為替ヘッジなし

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。  
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2023年10月26日～2024年10月25日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	33,104円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

# 今後の運用方針

## ■為替ヘッジあり

TCWファンズⅡ－TCWグローバルA I 株式ファンド（円ヘッジクラス）への投資を通じて、日本を含む各国の株式の中から、主にA I 関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

## ■為替ヘッジなし

TCWファンズⅡ－TCWグローバルA I 株式ファンド（ノンヘッジクラス）への投資を通じて、日本を含む各国の株式の中から、主にA I 関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

## ■TCWファンズⅡ－TCWグローバルA I 株式ファンド（円ヘッジクラス）／（ノンヘッジクラス）

世界的に政治情勢が不透明な様相は継続しており、金融市場では神経質な展開が予想され、かじ取りの難しい外部環境が続いています。さらなる米利下げやA I を主軸とした産業革命への期待は世界の株式市場を下支えすると見込まれますが、引き続き金融市場におけるセンチメント（市場心理）の振幅が大きくなりやすいことが予想され、過度な楽観には特に注意が必要であると判断しており、株式のバリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）に留意しつつ、個々の企業業績を中心としたファンダメンタルズ（基礎的条件）に着目した物色やセクターローテーション（景気の局面ごとに有望な業種別銘柄群に投資対象を切り替えていく戦略）の激しい動きが続く可能性を想定しています。

当ファンドは、A I の必要性を加速させる「人口の高齢化」、「エネルギー効率の向上の必要性」、「利便性の向上、都市化の推進」、「人的資本の生産性を高める必要性」、「景気後退時における事業コストの削減」など、多くの構造的要因からA I が情報化社会における基盤技術になると考えており、人間の指図なしにコンピュータ自身が学習し進化していくことはあらゆる産業にとって重要な意味を持ちます。

A I は幅広い分野に適用可能であることから、世界経済のパラダイムシフト（ある時代・集団を支配する考え方が、非連続的・劇的に変化すること）を起こすテクノロジーであり、生産性向上に大きく貢献すると考えています。また、A I が米国における生産性の停滞性を終わらせる可能性が十分にあると考えます。A I 技術により生産性が向上することで、1990年代と同様に、企業はより多くの資本集約型プロジェクトへの投資が可能になることから、企業の成長が加速し、収益性が改善され、株価の上昇も予想されます。さらに、A I や生成A I は、職場における従業員間のスキル差の是正等にもつながると考えています。生成A I ツールの活用により、スキル不足の従業員が従前はできなかった業務を遂行できるようになり、職場全体のパフォーマンス向上につながる可能性があると考えます。

今後も引き続き、TCWアセット・マネジメント・カンパニーのA I 分野における深い技術知識および徹底したファンダメンタル・リサーチ（基礎研究）を通して、継続的に魅力的なA I 関連銘柄の発掘に努めていきます。なお、「円ヘッジクラス」については、組入外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

## ■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

# ファンドデータ

## ニッセイA | 関連株式ファンド（為替ヘッジあり）の組入資産の内容

### ■ 組入ファンド

	第8期末 2024年10月25日
TCWファンズII-TCWグローバルA   株式ファンド (円ヘッジクラス)	98.7%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

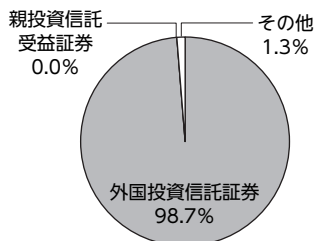
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### ■ 純資産等

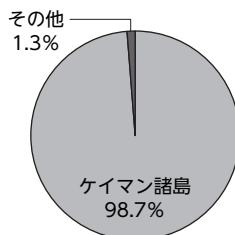
項目	第8期末 2024年10月25日
純資産総額	36,296,363,692円
受益権総口数	13,780,155,251口
1万口当たり基準価額	26,340円

(注) 当期間中における追加設定元本額は1,078,597,050円、同解約元本額は3,420,831,139円です。

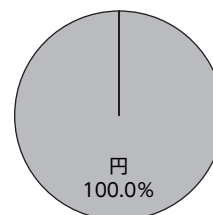
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年10月25日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## ニッセイA I 関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の組入資産の内容

### ■ 組入ファンド

	第8期末 2024年10月25日
TCWファンズII-TCWグローバルA I 株式ファンド(ノンヘッジクラス)	98.7%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

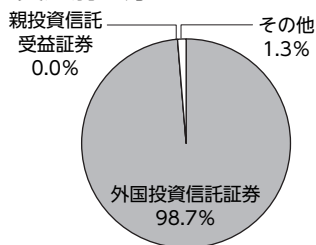
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### ■ 純資産等

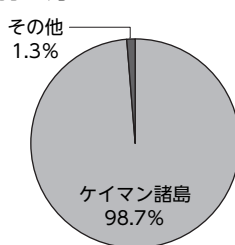
項目	第8期末 2024年10月25日
純資産総額	110,472,082,417円
受益権総口数	25,628,712,420口
1万口当たり基準価額	43,105円

(注) 当期間中における追加設定元本額は6,663,705,130円、同解約元本額は8,391,950,927円です。

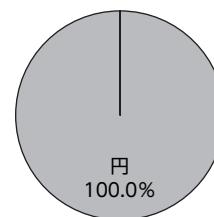
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分

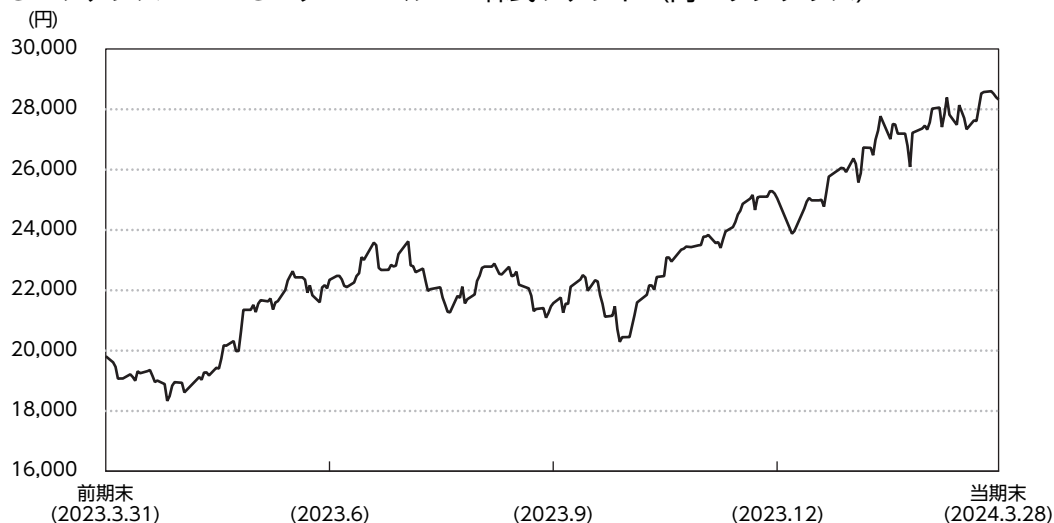


(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年10月25日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

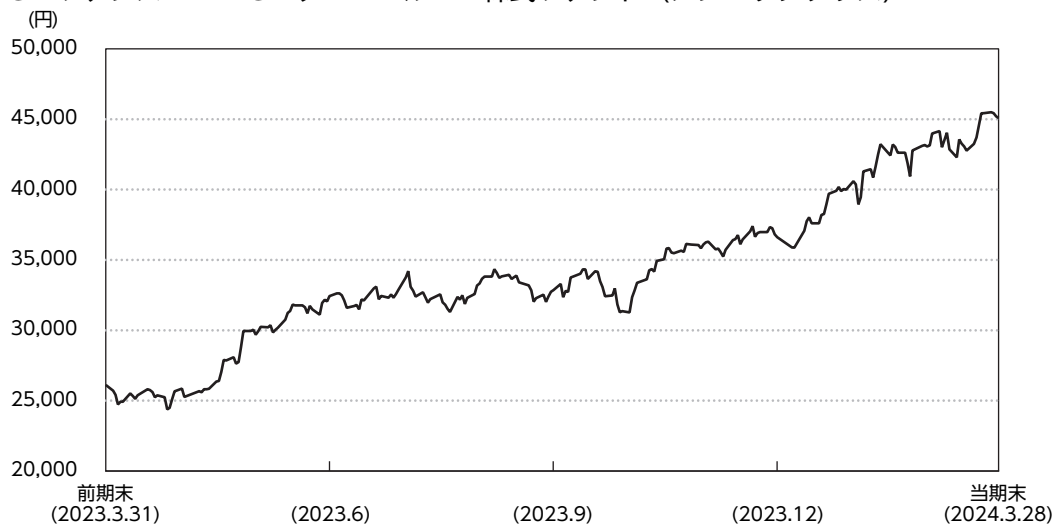
## TCWファンズII - TCWグローバルA | 株式ファンド (円ヘッジクラス) / (ノンヘッジクラス) の概要

### ■ 税引前分配金再投資基準価額の推移

< TCWファンズII - TCWグローバルA | 株式ファンド (円ヘッジクラス) >



< TCWファンズII - TCWグローバルA | 株式ファンド (ノンヘッジクラス) >

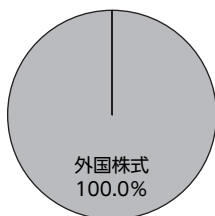


(注) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、外国投資信託証券の直近の決算期のものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

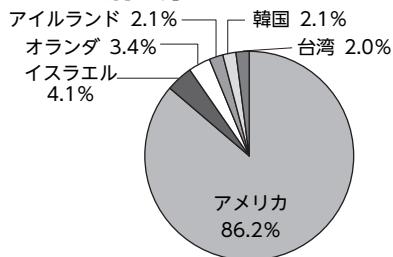
## ■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
NVIDIA Corporation	米ドル	7.6%
Meta Platforms Inc Class A	米ドル	6.3
Arista Networks, Inc.	米ドル	5.6
CrowdStrike Holdings, Inc. Class A	米ドル	5.3
Micron Technology, Inc.	米ドル	4.8
Microsoft Corporation	米ドル	4.7
Alphabet Inc. Class A	米ドル	4.1
Amazon.com, Inc.	米ドル	4.0
Palo Alto Networks, Inc.	米ドル	3.9
ServiceNow, Inc.	米ドル	3.6
組入銘柄数		35

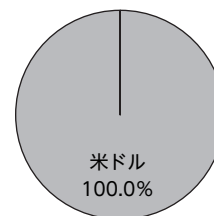
## ■資産別配分



## ■国別配分



## ■通貨別配分



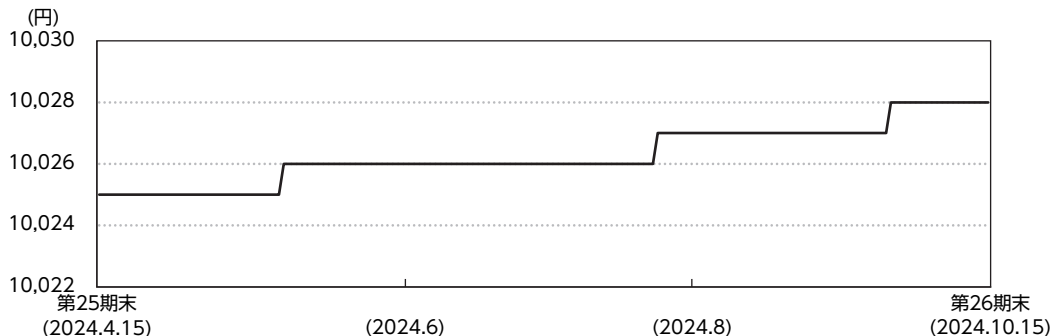
(注1) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、外国投資信託証券決算日（2024年3月28日現在）のものであり、比率は外国投資信託証券の組入株式等に対する評価額の割合です。なお、国別配分はTCWアセット・マネジメント・カンパニーの分類によるものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は、入手が困難であるため記載していません。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の投資有価証券明細表をご参照ください。

# ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

## ■ 基準価額の推移



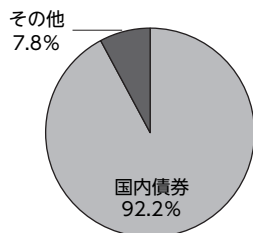
## ■ 上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
平成26年度第1回 滋賀県公募公債	円	14.6%
令和元年度第8回 神戸市公募公債 (5年)	円	14.5%
第146回 共同発行市場公募地方債	円	12.8%
第213回 神奈川県公募公債	円	12.7%
令和元年度第1回 鹿児島県公募公債 (5年)	円	12.7%
第69回 政保地方公共団体金融機構債券	円	6.4%
第147回 共同発行市場公募地方債	円	6.3%
第748回 東京都公募公債	円	6.3%
第231回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	円	5.7%
組入銘柄数		9

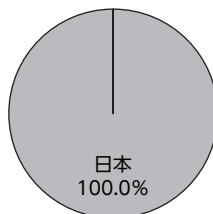
## ■ 1万口当たりの費用明細

当期 (2024年4月16日～2024年10月15日) における費用はありません。

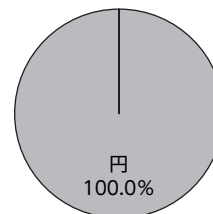
## ■ 資産別配分



## ■ 国別配分



## ■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日 (2024年10月15日現在) のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書 (全体版) の組入有価証券明細表をご参照ください。



## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	TCWファンズII- TCWグローバル A I 株式ファンド (円ヘッジクラス)	債券 組入比率	純資産 総額
	円	円	%	円	%	%	百万円
4期(2020年10月26日)	21,600	0	51.9	21,600	98.6	0.0	47,168
5期(2021年10月25日)	26,757	0	23.9	26,757	98.4	0.0	48,932
6期(2022年10月25日)	15,998	0	△40.2	15,998	98.7	0.0	25,947
7期(2023年10月25日)	19,285	0	20.5	19,285	98.6	0.0	31,092
8期(2024年10月25日)	26,340	0	36.6	26,340	98.7	0.0	36,296

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	TCWファンズII- TCWグローバル A I 株式ファンド (円ヘッジクラス)	債券 組入比率
	円	%	%	%
(期首)2023年10月25日	19,285	-	98.6	0.0
10月末	18,377	△ 4.7	98.6	0.0
11月末	21,308	10.5	98.9	0.0
12月末	22,550	16.9	99.0	0.0
2024年1月末	23,398	21.3	98.8	0.0
2月末	24,373	26.4	98.8	0.0
3月末	25,228	30.8	99.0	0.0
4月末	24,182	25.4	98.6	0.0
5月末	25,141	30.4	98.7	0.0
6月末	27,077	40.4	99.2	0.0
7月末	24,202	25.5	99.0	0.0
8月末	24,670	27.9	99.2	0.0
9月末	25,806	33.8	99.4	0.0
(期末)2024年10月25日	26,340	36.6	98.7	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

## 売買および取引の状況

2023年10月26日～2024年10月25日

## (1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
TCWファンズⅡ－TCWグローバル A I 株式ファンド（円ヘッジクラス）	－	－	225	6,186,890

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

## (2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	－	－	－	－

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

## 利害関係人との取引状況等

2023年10月26日～2024年10月25日

当期における利害関係人との取引はありません。

## 組入有価証券明細表

2024年10月25日現在

## (1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
	千口	千口	千円	%
TCWファンズⅡ－TCWグローバル A I 株式ファンド（円ヘッジクラス）	1,427	1,201	35,841,795	98.7
合計	1,427	1,201	35,841,795	98.7

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

## (2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	9	9

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は1,363,413千口です。

## 投資信託財産の構成

2024年10月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
T CWファンズⅡ-T CWグローバル A I 株式ファンド（円ヘッジクラス）	35,841,795	97.7
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	832,353	2.3
投資信託財産総額	36,674,158	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年10月25日現在)

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>36,674,158,532円</b>
コール・ローン等	832,353,350
T CWファンズⅡ-T CWグローバル A I 株式ファンド(円ヘッジクラス)(評価額)	35,841,795,188
ニッセイマネーマーケット マザーファンド（評価額）	9,994
<b>(B) 負債</b>	<b>377,794,840</b>
未払解約金	137,991,230
未払信託報酬	239,456,912
その他未払費用	346,698
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>36,296,363,692</b>
元本	13,780,155,251
次期繰越損益金	22,516,208,441
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>13,780,155,251口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	26,340円

(注) 期首元本額 13,780,155,251円  
 期中追加設定元本額 1,078,597,050円  
 期中一部解約元本額 3,420,831,139円

## 損益の状況

当期(2023年10月26日~2024年10月25日)

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>319,270円</b>
受取利息	356,003
支払利息	△ 36,733
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>9,795,223,602</b>
売買益	11,327,678,090
売買損	△ 1,532,454,488
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 470,187,836</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>9,325,355,036</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>4,060,351,089</b>
(分配準備積立金)	( 10,967,065,451)
(繰越欠損金)	(△ 6,906,714,362)
<b>(F) 追加信託差損益金*</b>	<b>9,130,502,316</b>
(配当等相当額)	( 8,422,196,861)
(売買損益相当額)	( 708,305,455)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>22,516,208,441</b>
<b>次期繰越損益金(G)</b>	<b>22,516,208,441</b>
追加信託差損益金	9,130,502,316
(配当等相当額)	( 8,422,196,861)
(売買損益相当額)	( 708,305,455)
分配準備積立金	13,385,706,125

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。  
 (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。  
 (注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。  
 (注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

## 分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	319,270円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	2,418,321,404円
(c) 信託約款に定める収益調整金	9,130,502,316円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	10,967,065,451円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	22,516,208,441円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	16,339.59円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	TCWファンズII- TCWグローバル A I 株式ファンド (ノンヘッジクラス)	債券 組入比率	純資産 総額
	円	円	%	円	%	%	百万円
4期(2020年10月26日)	21,583	0	50.2	21,583	98.6	0.0	55,689
5期(2021年10月25日)	29,140	0	35.0	29,140	98.7	0.0	67,710
6期(2022年10月25日)	22,767	0	△21.9	22,767	98.7	0.0	48,451
7期(2023年10月25日)	29,449	0	29.3	29,449	98.3	0.0	80,563
8期(2024年10月25日)	43,105	0	46.4	43,105	98.7	0.0	110,472

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	TCWファンズII- TCWグローバル A I 株式ファンド (ノンヘッジクラス)	債券 組入比率
	円	%	%	%
(期首)2023年10月25日	29,449	-	98.3	0.0
10月末	27,946	△ 5.1	98.2	0.0
11月末	32,169	9.2	98.9	0.0
12月末	32,768	11.3	98.9	0.0
2024年1月末	35,845	21.7	98.7	0.0
2月末	38,170	29.6	98.7	0.0
3月末	39,897	35.5	98.6	0.0
4月末	39,970	35.7	98.7	0.0
5月末	41,591	41.2	98.7	0.0
6月末	46,081	56.5	98.2	0.0
7月末	39,883	35.4	98.8	0.0
8月末	38,403	30.4	98.9	0.0
9月末	39,578	34.4	99.2	0.0
(期末)2024年10月25日	43,105	46.4	98.7	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

## 売買および取引の状況

2023年10月26日～2024年10月25日

## (1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
TCWファンズⅡ－TCWグローバル A I 株式ファンド（ノンヘッジクラス）	53	2,435,660	232	9,696,650

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

## (2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	－	－	－	－

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

## 利害関係人との取引状況等

2023年10月26日～2024年10月25日

当期における利害関係人との取引はありません。

## 組入有価証券明細表

2024年10月25日現在

## (1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
	千口	千口	千円	%
TCWファンズⅡ－TCWグローバル A I 株式ファンド（ノンヘッジクラス）	2,400	2,222	109,024,978	98.7
合計	2,400	2,222	109,024,978	98.7

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

## (2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	9	9

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は1,363,413千口です。

## 投資信託財産の構成

2024年10月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
T CWファンズⅡ-T CWグローバル A I 株式ファンド（ノンヘッジクラス）	109,024,978	97.7
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	2,530,381	2.3
投資信託財産総額	111,555,370	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年10月25日現在)

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>111,555,370,126円</b>
コール・ローン等	2,530,381,308
T CWファンズⅡ-T CWグローバル A I 株式ファンド(ノンヘッジクラス)(評価額)	109,024,978,824
ニッセイマネーマーケット マザーファンド（評価額）	9,994
<b>(B) 負債</b>	<b>1,083,287,709</b>
未払解約金	375,469,174
未払信託報酬	707,073,869
その他未払費用	744,666
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>110,472,082,417</b>
元本	25,628,712,420
次期繰越損益金	84,843,369,997
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>25,628,712,420口</b>
1万口当たり基準価額 (C / D)	43,105円

(注) 期首元本額 27,356,958,217円  
 期中追加設定元本額 6,663,705,130円  
 期中一部解約元本額 8,391,950,927円

## 損益の状況

当期 (2023年10月26日~2024年10月25日)

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>1,155,791円</b>
受取利息	1,270,491
支払利息	△ 114,700
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>31,217,741,623</b>
売買益	37,132,748,596
売買損	△ 5,915,006,973
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 1,315,292,579</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>29,903,604,835</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>16,659,013,451</b>
(分配準備積立金)	( 16,659,533,375)
(繰越欠損金)	(△ 519,924)
<b>(F) 追加信託差損益金*</b>	<b>38,280,751,711</b>
(配当等相当額)	( 28,628,404,760)
(売買損益相当額)	( 9,652,346,951)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>84,843,369,997</b>
<b>次期繰越損益金 (G)</b>	<b>84,843,369,997</b>
追加信託差損益金	38,280,751,711
(配当等相当額)	( 28,628,404,760)
(売買損益相当額)	( 9,652,346,951)
分配準備積立金	46,562,618,286

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。  
 (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。  
 (注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。  
 (注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

## 分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,155,791円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	29,901,929,120円
(c) 信託約款に定める収益調整金	38,280,751,711円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	16,659,533,375円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	84,843,369,997円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	33,104.81円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円



# 各ファンドの概要

		為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
商 品 分 類	追加型投信／内外／株式		
信 託 期 間	2016年11月30日～2044年10月25日		
運 用 方 針	外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式の中から、主にA I（人工知能）関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。		
	実質組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。	実質組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ニッセイ A I 関連株式ファンド	「TCWファンズII－TCWグローバルA I株式ファンド（円ヘッジクラス）」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」	「TCWファンズII－TCWグローバルA I株式ファンド（ノンヘッジクラス）」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」
	TCWファンズII－TCWグローバルA I株式ファンド（円ヘッジクラス）/（ノンヘッジクラス）	日本を含む各国の金融商品取引所に上場している株式	
	ニッセイマネーマーケットマザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品	
運 用 方 法	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</li> <li>・外貨建資産への直接投資は行いません。</li> <li>・株式への直接投資は行いません。</li> </ul>		
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。		

# TCWファンズⅡ－TCWグローバルAⅠ株式ファンド

以下は、「TCWファンズⅡ－TCWグローバルAⅠ株式ファンド」（ケイマン籍外国投資信託証券）の2024年3月28日現在の財務諸表のうち、同ファンドにかかる部分を、委託会社において抜粋し、その原文を翻訳したものです。同ファンドの財務諸表は、現地の諸法規に準拠して作成されており、独立監査人の監査を受けております。なお、「投資有価証券明細表」については、独立監査人の監査を受けておりません。

## (1) 損益計算書（2023年4月1日～2024年3月28日）

	(円)
<b>収益</b>	
配当収入	608,121,957
利息収入および公正価値を通じて利益または損失が発生する金融資産からの利息	108,246,823
その他収益	10,647,928
現金及び現金同等物に係る為替実現損益	525,851,626
損益を通じて公正価値で測定された金融資産および負債の その他公正価値の変動	59,751,003,138
<b>純収益合計</b>	<b>61,003,871,472</b>
<b>費用</b>	
受託者報酬および管理事務代行報酬	84,750,443
監査報酬	3,620,075
管理報酬	17,410,825
運用報酬	628,555,760
利息費用	1,545
その他費用	1,725,212
<b>営業費用合計</b>	<b>736,063,860</b>
<b>営業利益合計</b>	<b>60,267,807,612</b>
<b>税引前利益</b>	<b>60,267,807,612</b>
源泉徴収税	(158,716,698)
<b>純資産の増減</b>	<b>60,109,090,914</b>

(2) 投資有価証券明細表 (2024年3月28日現在)

The TCW Funds II – TCW Global Artificial Intelligence Equity Fund

Stock	Currency	No. of Shares	Market Value (JPY)	Weight (%)
NVIDIA Corporation	USD	851,700	11,646,936,970	7.6%
Meta Platforms Inc Class A	USD	131,709	9,679,308,331	6.3%
Arista Networks, Inc.	USD	196,337	8,616,646,524	5.6%
CrowdStrike Holdings, Inc. Class A	USD	167,307	8,117,684,434	5.3%
Micron Technology, Inc.	USD	408,873	7,295,137,495	4.8%
Microsoft Corporation	USD	112,790	7,181,775,675	4.7%
Alphabet Inc. Class A	USD	274,251	6,264,578,751	4.1%
Amazon.com, Inc.	USD	225,168	6,146,998,882	4.0%
Palo Alto Networks, Inc.	USD	139,799	6,011,588,395	3.9%
ServiceNow, Inc.	USD	48,147	5,555,462,247	3.6%
ASML Holding NV ADR	USD	35,617	5,231,274,775	3.4%
Lam Research Corporation	USD	321,620	4,729,173,257	3.1%
CyberArk Software Ltd.	USD	111,812	4,495,040,606	2.9%
Motorola Solutions, Inc.	USD	78,495	4,217,100,588	2.7%
Salesforce, Inc.	USD	86,017	3,920,834,418	2.6%
Tesla, Inc.	USD	139,520	3,711,920,917	2.4%
Apple Inc.	USD	134,009	3,477,887,442	2.3%
Eaton Corp. Plc	USD	69,257	3,277,418,190	2.1%
Datadog Inc Class A	USD	174,956	3,272,769,302	2.1%
Trade Desk, Inc. Class A	USD	246,923	3,266,934,507	2.1%
QUALCOMM Incorporated	USD	123,289	3,158,998,134	2.1%
Samsung Electronics Co., Ltd. Sponsored GDR	USD	13,976	3,145,299,035	2.1%
ON Semiconductor Corporation	USD	282,040	3,139,507,062	2.0%
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd. Sponsored ADR	USD	151,567	3,120,838,406	2.0%
Pinterest, Inc. Class A	USD	576,592	3,025,453,868	2.0%
Vertiv Holdings Co. Class A	USD	237,748	2,938,647,600	1.9%
Marvell Technology, Inc.	USD	235,298	2,524,120,162	1.6%
Cognex Corporation	USD	378,889	2,432,488,201	1.6%
Deere & Company	USD	38,952	2,421,390,541	1.6%
Symbotic, Inc. Class A	USD	353,906	2,410,285,680	1.6%
Snowflake, Inc. Class A	USD	82,924	2,028,101,474	1.3%
Advanced Micro Devices, Inc.	USD	69,980	1,911,591,824	1.2%
Mobileye Global, Inc. Class A	USD	378,571	1,842,028,735	1.2%
Super Micro Computer, Inc.	USD	107,530	1,643,735,748	1.1%
International Business Machines Corporation	USD	53,495	1,546,050,512	1.0%

# ニッセイマネーマーケット マザーファンド

## 運用報告書

### 第 26 期

(計算期間：2024年4月16日～2024年10月15日)

#### 運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

#### 主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

#### 運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。  
・ 外貨建資産への投資は行いません。



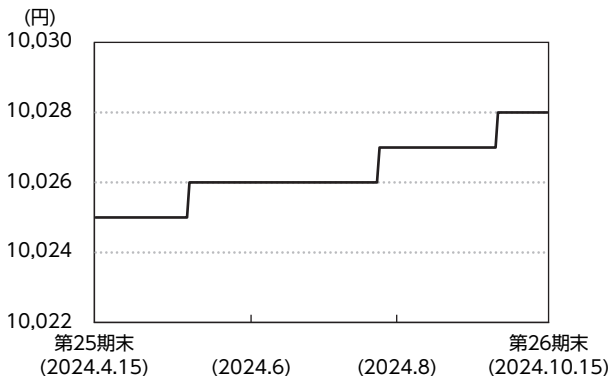
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

## 運用経過

2024年4月16日～2024年10月15日

### 基準価額等の推移



#### ■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

### ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

### ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

## 今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
22期(2022年10月17日)	10,029	0.0	79.4	50
23期(2023年4月17日)	10,027	△0.0	89.9	706
24期(2023年10月16日)	10,025	△0.0	82.1	720
25期(2024年4月15日)	10,025	0.0	83.1	1,391
26期(2024年10月15日)	10,028	0.0	92.2	1,375

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2024年4月15日	10,025	—	83.1
4月末	10,025	0.0	83.3
5月末	10,026	0.0	83.5
6月末	10,026	0.0	85.3
7月末	10,026	0.0	86.0
8月末	10,027	0.0	85.8
9月末	10,028	0.0	86.1
(期末)2024年10月15日	10,028	0.0	92.2

(注) 騰落率は期首比です。

## 1 万口当たりの費用明細

2024年4月16日～2024年10月15日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料	－円	－%	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	－	－	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合計	－	－	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,026円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

## 売買および取引の状況

2024年4月16日～2024年10月15日

## 公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	地方債証券	349,940	－
	特殊債券	－	(156,000)
			( 82,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

## 主要な売買銘柄

2024年4月16日～2024年10月15日

## 公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
		千円	
第146回 共同発行市場公募地方債	175,623	－	－
第147回 共同発行市場公募地方債	87,200		
第748回 東京都公募公債	87,117		

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

## 組入有価証券明細表

2024年10月15日現在

## 国内（邦貨建）公社債

区分			当期末					
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
千円	千円	%	%	%	%	%	%	
地方債証券	1,099,000 (1,099,000)	1,100,147 (1,100,147)	80.0 (80.0)	—	—	—	—	80.0 (80.0)
特殊債券 (除く金融債券)	167,000 ( 167,000)	167,152 ( 167,152)	12.2 (12.2)	—	—	—	—	12.2 (12.2)
合計	1,266,000 (1,266,000)	1,267,299 (1,267,299)	92.2 (92.2)	—	—	—	—	92.2 (92.2)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ( )内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

## (国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
地方債証券	第748回 東京都公募公債	0.4560	2025/ 9 /19	87,000	87,112
	第213回 神奈川県公募公債	0.5340	2025/ 3 /19	175,000	175,319
	第146回 共同発行市場公募地方債	0.5530	2025/ 5 /23	175,000	175,406
	第147回 共同発行市場公募地方債	0.5480	2025/ 6 /25	87,000	87,186
	平成26年度第1回 滋賀県公募公債	0.4950	2024/11/28	200,000	200,121
	令和元年度第8回 神戸市公募公債(5年)	0.0010	2024/10/25	200,000	200,000
	令和元年度第1回 鹿児島県公募公債(5年)	0.0010	2024/10/31	175,000	175,000
	小計	—	—	—	1,100,147
特殊債券 (除く金融債券)	第231回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.4950	2024/11/29	79,000	79,047
	第69回 政保地方公共団体金融機構債券	0.4140	2025/ 2 /17	88,000	88,104
	小計	—	—	—	167,152
	合計	—	—	—	1,267,299

## 投資信託財産の構成

2024年10月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	1,267,299	92.1
コール・ローン等、その他	109,288	7.9
投資信託財産総額	1,376,587	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。



# ニッセイマネーマーケットマザーファンド

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年10月15日現在)

項目	当期末
(A)資産	1,376,587,399円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	108,477,511
公 社 債 (評価額)	1,267,299,290
未 収 利 息	721,187
前 払 費 用	89,411
(B)負債	1,427,770
未 払 解 約 金	1,427,770
(C)純資産総額(A-B)	1,375,159,629
元 本	1,371,321,507
次 期 繰 越 損 益 金	3,838,122
(D)受益権総口数	1,371,321,507口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,028円

(注1) 期首元本額 1,388,192,825円  
 期中追加設定元本額 143,291,136円  
 期中一部解約元本額 160,162,454円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイグローバル高配当株式プラス(毎月決算型)	10,000円
ニッセイマネーマーケットファンド(適格機関投資家限定)	49,936,464円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	9,994円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
J P X日経400アクティブ・オープン米ドル投資型	9,976円
J P X日経400アクティブ・プレミアム・オープン(毎月決算型)	9,976円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型)	9,974円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(年2回決算型)	9,974円
ニッセイ/MF S外国株低ボラティリティ運用ファンド	9,967円
ニッセイA I 関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	9,967円
ニッセイA I 関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	9,967円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(資産成長型)	9,968円
D Cニッセイターゲットデットファンド2025	1,320,986,105円
ニッセイ/コムジエスト新興国成長株ファンド(資産成長型)	9,969円
ニッセイ/コムジエスト新興国成長株ファンド(年2回決算型)	9,969円
ニッセイA I 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイA I 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(3ヵ月決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(3ヵ月決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,970円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,970円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド(予想分配金提示型)	9,972円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド(資産成長型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(予想分配金提示型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(資産成長型)	9,972円
原定追加型・繰上償還条項付ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド(為替ヘッジあり)	9,973円
ニッセイ/シュロダー・評判回リCBファンド2023-02(為替ヘッジあり・原定追加型)	9,974円
原定追加型・繰上償還条項付ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド2023-07(為替ヘッジあり)	9,975円
原定追加型・繰上償還条項付ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド2023-07(為替ヘッジなし)	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド(資産成長型)	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド(毎月決算型)	9,975円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなし)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,968円

## 損益の状況

当期(2024年4月16日~2024年10月15日)

項目	当期
(A)配 当 等 収 益	2,180,665円
受 取 利 息	2,180,665
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 1,789,977
売 買 損 益	△ 1,789,977
(C)当 期 損 益 金 ( A + B )	390,688
(D)前 期 繰 越 損 益 金	3,489,065
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	377,348
(F)解 約 差 損 益 金	△ 418,979
(G)合 計 ( C + D + E + F )	3,838,122
次 期 繰 越 損 益 金 ( G )	3,838,122

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (E)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (F)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。